

# 瀬戸内市(岡山県)の一体的実施 平成24年3月30日事業開始

市役所庁舎内に「ジョブスポットせとうち」を開設し、市とハローワークによる生活困窮者、障がい者、若年者及び子育て女性等に対する一体的支援等を実施

市

福祉サービス、相談の実施等



国

職業紹介・職業相談の実施等

## ① 事業内容

- ・市とハローワークの担当で「就労支援チーム」を結成し、生活保護受給者・障がい者、若年者及び子育て女性等に対する就労支援を実施(利用者に応じた「就労支援プラン」を策定)
- ・就職面接会や遠隔地での出張相談を実施

## ② 協定・事業計画

- ・瀬戸内市長とハローワーク西大寺所長の協定(\*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を瀬戸内市とハローワーク西大寺の間で策定

\* 本協定は、緊密な相互連携に基づく就労支援を実現することにより、支援対象者の早期再就職による自立の実現を図ることを規定

## ③ 事業実施協議会

- ・瀬戸内市職員、ハローワーク西大寺職員をメンバーとする事業実施協議会を設置

市役所内の「ジョブスポットせとうち」で、市と国の協働で「就労支援チーム」を結成し、付き添い型の綿密な支援を実施し、福祉から就労への支援を実現

## (1) 実施体制

### 市

- ・ 就労支援員1名を配置

### 国(ハローワーク)

- ・ 就職支援ナビゲーター1名、職業相談員2名を配置
- ・ 求人情報提供端末2台、職業紹介端末3台を配置

## (2) 事業目標と取組状況

	6年度事業目標	取組状況(6年6月末時点)
生活保護受給者等	○ 支援対象者数 21人 ○ 就職者数 7人 ○ 就職率 33.3%	○ 支援対象者数 10人 ○ 就職者数 2人 ○ 就職率 20.0%
	(参考)5年度事業目標 ・支援対象者数 21人 ・就職者数 8人	(参考)5年度取組状況 ・支援対象者数 12人 ・就職者数 3人
障がい者	○ 支援対象者数 33人 ○ 就職者数 16人 ○ 就職率 48.5%	○ 支援対象者数 21人 ○ 就職者数 8人 ○ 就職率 38.1%
	(参考)5年度事業目標 ・支援対象者数 29人 ・就職者数 21人	(参考)5年度取組状況 ・支援対象者数 13人 ・就職者数 4人
子育て女性等	○ 支援対象者数 75人 ○ 就職者数 44人 ○ 就職率 58.7%	○ 支援対象者数 26人 ○ 就職者数 7人 ○ 就職率 26.9%
	(参考)5年度事業目標 ・支援対象者数 66人 ・就職者数 47人	(参考)5年度取組状況 ・支援対象者数 22人 ・就職者数 7人
市に居住する求職者等	○ 出張相談 5回 ○ 就職面接会 1回	○ 出張相談 0回 ○ 就職面接会 0回
	(参考)5年度事業目標 ・出張相談 5回 ・就職面接会 1回	(参考)5年度取組状況 ・出張相談 0回 ・就職面接会 0回

# 一体的実施事業による就職成功例

女性：20歳代（生活困窮者）

希望職種：接客・販売

## ① 抱える課題

- ・実父は無職。実母は社員として勤務も消費者金融から多額の借り入れあり。弟は一人は障害者、一人は小学校就学前。
- ・本人は高校卒業後、進学を希望も断念。アルバイト就労をしていたが、母親から金銭の無心があり手元に残るお金はごくわずか。家賃滞納による退去回避のため総合支援資金特例貸し付けを利用し滞納分の家賃を返済。

## ② 支援内容・ポイント・経過

- ・瀬戸内市福祉課と連携し相談を繰り返した。世帯員それぞれ各支援機関が関わっており、必要に応じて情報共有。
- ・運転免許未所持のため電車で通勤可能な場所を選定。応募書類の添削、模擬面接を複数回実施。
- ・アルバイトで経験したサービス業を中心に、正社員を目指すという目標を掲げた。

## ③ 結果

- ・不採用が続いたが、正社員としてホテルのフロント業務に就職が決定。

## ○ ハローワーク担当者の所感

- ・本人にとっては初めての就職活動で戸惑いがあった様子だったが、素直にアドバイスを受け入れていた。
- ・週1回は市の担当者と三者面談し、応募先の検討、書類の添削等を継続したことが結果に結びついた。

## ○ 本人のコメント

しっかりとお金を貯めて一人暮らしができるよう頑張ります。

# 一体的実施事業による就職成功例

男性：50歳代（生活保護受給者）

希望職種：調理関係

※前職製造（派遣）

## ① 抱える課題

- ・学校卒業後、短期間で就転職を繰り返した後、飲食業で自営を始めるも経営悪化の為、廃業。その後、派遣で製造業に従事。人間関係悪化が原因で退職。
- ・同時期に硬膜下血腫を発症、手術を受ける。その後、痺れ等の後遺症が残った事で就労には制約がある。
- ・運転免許は過去取得していたが、更新はしていない。

## ② 支援内容・ポイント・経過

- ・瀬戸内市福祉課と連携し、支援員同席のもと相談を繰り返し実施した。
- ・後遺症も徐々に無くなり、医師と相談の結果、原付バイクの運転の許可が出る。福祉課と協議し、運転免許・バイク購入を目的として、本人に就労意欲を高める意味も含めて、バイク免許を取得しバイク通勤を提案。短期ではあるがプールの監視員のアルバイトが決まる。
- ・当所の目的とおり、アルバイト代で免許、原付バイクを購入し、活動範囲が広がる。

## ③ 結果

- ・不採用が続いたが、本人の希望であった調理補助に就職が決まり、やりがいを見いだせた感がある。

## ○ ハローワーク担当者の所感

- ・通勤手段が広がったのが大きく、また短期アルバイトの中で就労に対して前向きになれたのではないかと感じます。
- ・アルバイト終了後、モチベーションを保つ為、週1回は福祉課と三者面談し、応募先の検討・応募書類の添削等を継続した事が結果に結び付いたと思います。

## ○ 本人のコメント

「調理は好きですし、経験職でもあるので、長く勤めて正社員を目指して頑張っていきたい。」